

Sedex 加入のサプライヤーのメリット

1. 自社情報を複数の顧客と共有することにより、コストや労力を削減できる。

Sedex は世界共通のサプライヤー自己評価アンケート（※）を設けており、サプライヤーはプラットフォーム上でアンケートに回答し、取引先と共有する電子プラットフォームである。一度回答した後からは変更箇所のみでのアップデートが良い。この為、業務の重複を防げ、効率が高まる。更に、他の取引先が Sedex 会員の場合、アンケートの回答結果を共有することができる。また、プラットフォーム上にはあらゆる監査結果（内部監査、第三者・第三者監査、他）がアップロードできる。その為、監査報告などデータのやりとりが削減される。既に監査を実施されている場合は、その監査情報を複数の取引先と共有することで、監査実施数の削減できる。

※Sedex サプライヤー自己評価アンケート (SAQ) とは ETI Base Code (国際労働機関 (ILO) 労働慣行の国際的規範)、SA8000 (労働・人権に関する国際規格)、ISO14001 (環境マネジメントシステムに関する国際規格)、OHSAS18001 (労働安全マネジメントシステムに関する国際規格) といった国際的に重要とみなされている規範や規格に則って策定され、4 つの領域「労働基準」、「健康と安全」、「環境」、「ビジネス倫理」で約 200 設問前後で構成されている。非開示の財務情報や秘匿情報などの開示は求められてなく、あくまでも国際規格に沿った基本的設問項目への回答が求められる。

2. 「責任あるサプライチェーン」構築に向けた積極的な姿勢を、取引先にアピールすることができる。

国際的に重要とみなされている規範や規格に則り、自社の「労働基準」、「健康と安全」、「環境」、「ビジネス倫理」に関する情報についてきちんと把握し、取り組んでいる企業として、取引先にアピールできるツールが Sedex である。「責任あるサプライチェーン」の構築に向けて、バイヤーだけでなくサプライヤーにも社会・環境・人権面での取り組みと報告を求める要請がグローバルで高まっている中で、「責任あるサプライチェーン」構築に向けた自社(サプライヤー)の積極的な姿勢を示すことで、信頼のおけるビジネスパートナーとして評価される可能性が高まる。

3. 自社内の気づきや取り組み強化につながるツールである。

Sedex の自己評価アンケートに回答する中で、社内の様々な情報が整理し自社の取り組むべき点が把握でき、労働安全やコンプライアンス強化など次のアクションにつながる。また、自社がグローバル企業になるためには注意しなければならないポイントが把握できる。

4. サプライヤーに対してリーズナブルな年会費

サプライヤー (Sedex B 会員) は£100.00GBP、約 15,000 円 (年会費) (2018 年 3 月時点)
ただし、登録する工場数によって年間費は変わります。

以上